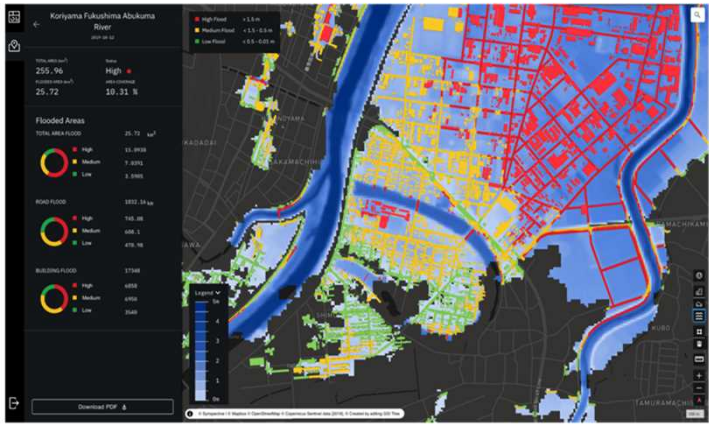



企業情報	企業・組織名	株式会社Synspective		業種	その他																					
	Webサイト	https://synspective.com/jp/																								
技術・ソリューション	代表的技術名	浸水被害モニタリング																								
	本技術が貢献する領域	「質の高いインフラ」および「スマートシティ」																								
	対象分野	道路・橋梁	該当する	港湾	該当する	空港	該当する																			
		上下水道	該当する	発電・エネルギー	該当しない	鉄道	該当する																			
		住宅	該当する	情報通信技術	該当しない	その他(自由記述)																				
	対象都市課題	交通・モビリティ	該当する	エネルギー	該当しない	防災	該当する																			
		インフラ維持管理	該当する	観光・地域活性化	該当する	健康・医療	該当しない																			
		農林水産業	該当する	環境	該当する	セキュリティ・見守り	該当する																			
		物流	該当する	都市計画・整備	該当する	その他(自由記述)																				
	技術分類(キーワード)	宇宙、SAR衛星、減災・防災																								
技術の内容(概要)	<p>水災発生時の浸水被害状況を、SAR衛星による観測データに基づき、広域に浸水域と浸水深のデータをWebサービスにて提供</p> <p>有事:被害状況の速やかな把握による適切な初動対応、意思決定を支援</p> <p>平時:過去災害の浸水被害状況をSAR衛星による観測データに基づき把握する事で、堤防の強化個所の特定や排水強化個所の特定など、将来的な都市計画検討データとしての活用</p>																									
技術紹介図	<p>Webサービス(いつでも・どこでも)を通じて、広域に水害被害状況を把握する事が出来るデザインインターフェース(だれでも)</p>  <table border="1"> <caption>Flooded Areas Summary</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>High</th> <th>Medium</th> <th>Low</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOTAL AREA FLOOD</td> <td>25.96</td> <td>7.20</td> <td>2.72</td> </tr> <tr> <td>RIVER FLOOD</td> <td>10.31</td> <td>3.88</td> <td>1.74</td> </tr> <tr> <td>Road FLOOD</td> <td>15.65</td> <td>3.32</td> <td>0.98</td> </tr> <tr> <td>BUILDING FLOOD</td> <td>10.31</td> <td>3.88</td> <td>1.74</td> </tr> </tbody> </table>						Category	High	Medium	Low	TOTAL AREA FLOOD	25.96	7.20	2.72	RIVER FLOOD	10.31	3.88	1.74	Road FLOOD	15.65	3.32	0.98	BUILDING FLOOD	10.31	3.88	1.74
Category	High	Medium	Low																							
TOTAL AREA FLOOD	25.96	7.20	2.72																							
RIVER FLOOD	10.31	3.88	1.74																							
Road FLOOD	15.65	3.32	0.98																							
BUILDING FLOOD	10.31	3.88	1.74																							
技術の海外展開について	アジア	すでに展開している	アフリカ	要望があれば検討	中東	要望があれば検討	欧州	展開を検討する																		
	ロシア	要望があれば検討	オセアニア	すでに展開している	北米	展開を検討する	中南米	展開を検討する																		

活用事例	対象国	日本国															
	都市名	佐賀県															
	プロジェクト名	小型SAR(合成開口レーダー)衛星コンステレーションによる災害状況把握サービスの社会実装															
	プロジェクト概要	<p>水災害時において広範な地域の被害状況を一次情報に基づいて把握することができる本サービスは、迅速な意思決定への貢献が期待されている。</p> <p>Synspective、佐賀県庁、株式会社島内エンジニアおよびJAXAの連携により、小型SAR衛星コンステレーションの活用による、豪雨による浸水被害の解析精度の向上を実証する。また水災害時における初動対応を含めた業務オペレーションの効率化、情報収集の最適化の検討が含まれる。</p>															
	プロジェクト紹介図	<p>・水災発生時に自治体が迅速に状況を把握し、適切な初動対応・意思決定を行うためのオペレーション高度化を訴求（佐賀県庁・JAXA・島内エンジニアとの実証実験）</p>  <p>SAR衛星を活用した災害発生時の初動対応オペレーション改善 SAR衛星による迅速かつ広域での状況把握により、適切な初動対応・意思決定を実現</p> <p><b>現状の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の初期段階で、正確な状況把握が困難</li> <li>どこから被害が発生しているかわからない</li> <li>天候回復まで詳細な被害状況の把握が困難（確定的な人的調査、センサー等の情報量）</li> <li>初動対応をどこから始めるべきか、の優先順位付けが困難</li> </ul> <p><b>活用後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生から迅速に状況把握し、適切な意思決定が可能</li> <li>初動対応をどこから始めるか、の優先順位付けが容易</li> <li>衛星による迅速な状況把握と適切な意思決定を実現</li> <li>其後の一次データを取得することで、災害対応関係機関の共通認識を形成</li> </ul>															
プロジェクト紹介Webサイト	<a href="https://synspective.com/jp/press-release/2021/jaxa-synspective/">https://synspective.com/jp/press-release/2021/jaxa-synspective/</a>																
SDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
備考 (受賞歴など)	<p>The Singapore Space and Technology Ltd (SSTL) とThe Southeast Asia Disaster Risk Insurance Facility (SEADRIF) supported by The World Bankによって実施されたThe Humanitarian Assistance and Disaster Relief (HADR) Challengeにて、26チーム中トップ4チームに選出  <a href="https://www.space.org.sg/events/ur2020-sstl-x-the-world-bank-hadr-challenge-pitching-session/">https://www.space.org.sg/events/ur2020-sstl-x-the-world-bank-hadr-challenge-pitching-session/</a></p>																